

第10回 臨床研究・治験四国協議会 開催報告

令和元年8月24日（土）に愛媛大学（城北キャンパス）にて第10回 臨床研究・治験四国協議会を開催しました。

本協議会は、四国地区における治験、臨床研究の推進を図るために、年に一度、四国4大学が持ち回りで開催しております。各医療施設間での情報交換と関連スタッフの育成、研修を目的としており、今回も四国4大学からの参加者に加えて、日本全国からご参加いただきました。当日は約100名の方が参加され、大変有意義な協議会を開催することができました。

■第1部：グループワーク（13：00～15：40）

テーマ

- ①被験者ケア・サポート
～真に求められるサポートは何か、考えてみませんか？～
- ②治験における断捨離
- ③プロトコルレビュー・読み方のポイント
- ④私たちの働き方改革
- ⑤臨床研究法施行により、臨床研究審査委員会にはどのような取組みが求められるのか？

■第2部：講演会（16：00～17：30）

講演1「治験ボランティア募集の取り組み」ー同意取得数250人超えを目指してー
えひめ治験ボランティア会 代表 守谷 高志 氏
愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター CRC 仙波 真紀子

講演2「臨床研究法施行後明らかになった問題点」
国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部長 中村 健一 先生



臨床研究支援センターへのご意見・ご要望などをお寄せください

愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

TEL：089-960-5914. 5920（ダイヤルイン）

FAX：089-960-5910

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/clinicalresearch/>

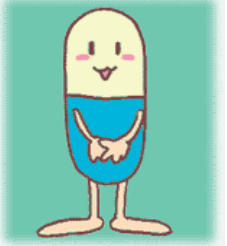


愛媛大学医学部附属病院

臨床研究支援センター News

第18号

2020.6



治験実施優秀者表彰



後列（左から）薬師神 芳洋（腫瘍センター）、宇佐美 知香（産婦人科）、山西 祐輝（臨床薬理神経内科）、
恩地 裕史（産婦人科 松元 隆の代理）

前列（左から）永井 将弘（臨床薬理神経内科）、三浦 裕正（病院長）、多田 聡（臨床薬理神経内科）

当院で実施された治験において、多くの症例を担当した医師を表彰する「治験実施優秀者表彰」（治験実施優秀者の病院長表彰制度）を令和元年7月22日に行いました。表彰者は、平成30年度に7症例以上を実施した医師上位5名の多田 聡（臨床薬理神経内科）、松元 隆（産婦人科）（欠席）、山西 祐輝（臨床薬理神経内科）、永井 将弘（臨床薬理神経内科）、宇佐美 知香（産婦人科）となりました。

また、部門賞においては、外来化学療法室（代表して薬師神 芳洋が出席）が受賞しました。年々増加している抗がん剤の治験において、治験実施計画書のスケジュールや手順から逸脱することなく安全に投与を実施するため、協力して被験者の支援を行ったことが評価されました。今後も治験毎に異なる投与手順や被験者の管理に重要な役割を担う部署であり、治験実施への貢献が期待される部門でもあります。

市民公開講座「病気とくすり」開催報告

毎年恒例となっております市民公開講座「病気とくすり」を令和元年6月9日（日）に、いよてつ高島屋の9階ローズホールにて開催しました。

この講座では「もっと知りたい最新治療」をテーマとして、以下の講演を行いました。

「ぜひ知っておこう！レビー小体とレム睡眠行動障害の関係」
愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理神経内科／臨床研究支援センター
永井 将弘 センター長

パーキンソン病やレビー小体型認知症の前駆症状のひとつと考えられているレム睡眠行動障害（RBD）についての講演を行いました。RBDの特徴や薬物治療などの説明がありました。



「知りたかった！パーキンソン病Q&A」
愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理神経内科 多田 聡 助教

パーキンソン病の症状と加齢による症状との違いや、治療方法など、普段、診察室を訪れる皆様からの質問を紹介し、答えるかたちで講演を行いました。高齢化社会におけるパーキンソン病の現状を分かりやすく伝えました。



「レビー小体型認知症について ～まずは知るところから～」
愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理神経内科 辻井 智明 講師

未だ認知度の低いレビー小体型認知症について、アルツハイマー型認知症と比較した特徴の説明がありました。疾患について十分に知ることが、介護負担の軽減につながると発信しました。

臨床研究支援センター発表報告

～第19回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議2019 in 横浜～

令和元年9月14日（土）、15日（日）に「第19回CRCと臨床試験のあり方を考える会議」が「患者を中心とした臨床試験のあり方」のテーマのもと、パシフィコ横浜において開催され、当院からも参加し、以下のタイトルでポスター発表をしました。

「高齢者治験ボランティア募集方法についての検討」

愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター CRC 仙波 真紀子

発表内容：発症前被験者を対象とした治験ではたくさんのボランティアの参加が必要です。人口の少ない地方で、治験に必要な被験者数を集めるためには、地域に根ざした治験ボランティア会の協力が必要であることを発信しました。



創薬・育薬セミナー 開催報告

■第37回 創薬・育薬セミナー
令和元年11月28日（木）

講師：聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター
山野 嘉久 先生

リアルワールドエビデンスを活用した希少難病の診療ガイドライン作成～HTLV-1関連脊髄症（HAM）を例に～



■第38回 創薬・育薬セミナー
令和元年12月17日（火）

講師：東京大学医学部附属病院 臨床研究推進センター
森豊 隆志 先生

臨床研究を取り巻く環境の変化と推進への取り組み



■治験に関する院内職員向け講習会
令和2年1月9日（木）

講師：愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター
永井 将弘 センター長

～治験における多職種連携と協働～



■第39回 創薬・育薬セミナー
令和2年2月18日（火）

講師：愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター
永井 将弘 センター長

医療倫理に関する講演会－医療に求められる倫理－

SMO（治験施設支援機関）のCRCとの協働報告

愛媛大学医学部附属病院では、受託している治験数の増加や治験業務の煩雑化による人員不足を補う目的で、Site Management Organization（治験施設支援機関；以下SMO）に、治験事務局やCRCの業務の一部を委託しています。SMOから派遣されているCRCさんは、医療機関で雇用されているCRCと違って、医療行為を行うことができません。現在は、SMOのCRCさんには、データの入力や検体の発送などを主として行っていますが、今後は患者さんと一緒に外来や病棟などへ出向いていくことになりますので、よろしくお願いいたします。



院内CRCさんと協力し、
愛媛大学医学部附属病院様での
治験実施の一助となれるよう頑張ります。
どうぞよろしくお願いいたします。



中澤 美佳さん 大橋 有里さん 松木 めぐみさん